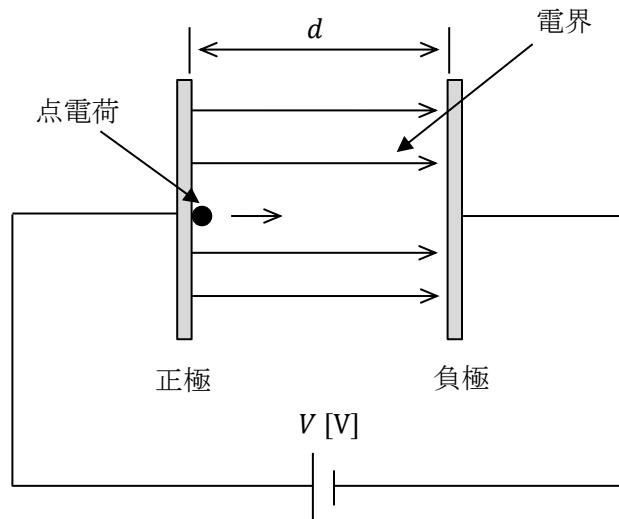


問 12 次の文章は、電界中の電子の運動に関する記述である。

図のように、極板間の距離 d [m] の平行板導体に直流電圧 V [V] を印加し、正極側に質量 m [kg]、電荷量 $q (> 0)$ [C] の点電荷を時刻 $t = 0$ で置いたとする。この点電荷が極板間の電界より受ける力 F [N] は、 $F = \boxed{\text{(\gamma)}}$ [N] であり、
（イ）運動をする。この点電荷が負極に到達する時刻 t [s] は、 $t = \boxed{\text{(\psi)}}$ [s] となる。

ただし、極板間の電界は一様とし、点電荷の速度は光速より十分に小さく、初速度は 0 m/s とする。また、重力の影響は無視できるものとし、平行板導体は十分大きいものとする。

上記の記述中の空白箇所 (イ)～(ウ) に当てはまる組合せとして、正しいものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。



	(r)	(f)	(t)
(1)	$\frac{qV}{d}$	等速直線	$d \sqrt{\frac{2m}{qV}}$
(2)	qVd	等加速度	$\sqrt{\frac{2m}{qV}}$
(3)	qVd	等速直線	$\sqrt{\frac{2m}{qV}}$
(4)	$\frac{qV}{d}$	等速直線	$\sqrt{\frac{2m}{qV}}$
(5)	$\frac{qV}{d}$	等加速度	$d \sqrt{\frac{2m}{qV}}$